

1 調査参加者 メダカ里親の会 5名

環境カウンセラー協会 4名(資料提供)

計 9名

2 調査市町・地区数

小山市18 益子町13 日光市5 宇都宮市4 栃木市4 壬生町2 大田原市2

さくら市1 那須烏山市1 芳賀町1 塩谷町1 那須塩原市1 上三川町1

調査実施内訳 (メダカ里親の会38件 環境カウンセラー16件) 計 13市町54地区

3 水路形態

未整備土水路 6 圃場整備済装工済水路 41 整備済小河川 7 計 54箇所

4 主なる生物の生息状況 (調査地区総数に対する生息割合) 「詳細は別添資料参照」

魚類 ①ドジョウ43/54 (79%) ②タモロコ38/54(70%) ③カラドジョウ20/54(37%) ④カワムツ19/54(35%) ⑤ヨシノボリ類17/54(31%) ⑥オイカワ16/54(29%) ⑦フナ類・メダカ14/54 (25%) ⑧コイ11/54(20%) ⑨モツゴ10/54(18%) ⑩ナマズ8/54(15%) ⑪ホトケドジョウ8/54(15%) ⑫シマドジョウ6/54(11%) 他ウグイ5・カジカ3・カマツカ4・ムギツク1・ギバチ2・バス類3・アユ2・タイリクバラタナゴ・ジュズカケハゼ2・ブルーギル1

甲殻類 ①スジエビ7/54(13%) ②ヌカエビ2/54(4%) ③カワリヌマエビの仲間41/54(76%) ④アメリカザリガニ43/54(80%) ⑤サワガニ2/54(4%)

両生類 ①トウキョウダルマガエル32/54(59%) ②ニホンアマガエル22/54(41%) ③ヌマガエル21/54(39%) ④ツチガエル8/54(15%) アカガエル2/54(4%) アカハライモリ1/54(2%)

水生昆虫類 ①ガムシ類13/54(24%) ②ゲンゴロウ類12/54(22%) ③タガメ8/54(15%) ④タイコウチ14/54(26%) ⑤ミズカマキリ13/54(24%) ⑥コオイムシ7/54(13%)

5 上記の考察

魚類について

- ①ドジョウは県内まんべんなくみられたが外来種のカラドジョウ県南部の小山で多く見られた県央・県北部でも相当の地域で繁殖しているものと思われるので観察に注意をしてください
- ②フナ類の減少が顕著です。14地区中小山市が半数を占めており多数は2箇所のみです
- ③絶滅危惧種のメダカは小山市・栃木市・益子町のみで小山市は全域で生息が確認されています又外来種のカダヤシが小山市東部の2か所で増加しています。
- ④絶滅危惧種のホトケドジョウやアブラハヤ類は県北西部で安定生息しています

甲殻類について

- ①在来種のヌカエビの減少が著しく、代わりに外来種のカワリヌマエビの仲間の増加が著しいです
- ②アメリカザリガニは県内大部分の地域で繁殖していますが県北西部に未繁殖区域があります

両生類について

- ①水路内調査のためカエルの確認報告がない箇所があります。次年度からは水田周りのカエルの確認が必要と思われます
- ②ヌマガエルの北上が進んでいます。今年日光市小代で確認しました (注意ください)